



介護保険ガイド

介護保険広報シリーズ ⑭②

認知症について

認知症は誰にも起こりうるもので、始めはもの忘れと区別がつきにくい脳の病気です。85歳以上では4人に1人にその症状があると言われており、今後大幅に増えることが予想されています。認知症になっても安心して地域で暮らせるように、他人の問題ではなく「自分の問題」であるという認識を持ち、認知症を正しく理解することが大切です。

◆ 認知症とは

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞がダメージを受けて働きが悪くなることで、さまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態(およそ6カ月以上継続)を指します。

◆ 病気として理解し「早期発見・早期治療」を心がける

適切な治療やケアをすることで症状を軽くしたり、進行を遅らせたりできる場合がありますので、早めにかかりつけ医や専門医(もの忘れ外来、老年内科、精神科、神経科など)の受診をお勧めします。

認知症にはこんなサインがあらわれます ～サインを見逃さないで～

- ・ 最近の出来事が思い出せない、全く覚えていない
- ・ 物を置き忘れる
- ・ 日付や曜日、簡単な計算が分からない
- ・ 同じ質問を何度もする など

◆ できない部分を補いましょう

認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。周囲の人が認知症の人やその家族の気持ちを理解し、できない部分を補えば、自分でできることが増えおだやかに暮らしていくことができます。

認知症の人への対応の心得(3つの「ない」)

- ・ 驚かせない
- ・ 急がせない
- ・ 自尊心を傷つけない

具体的な対応の7つのポイント

- ・ まずは見守る
- ・ 余裕をもって対応する
- ・ 声をかけるときは1人で
- ・ 後ろから声をかけない
- ・ 相手に目線を合わせて優しい口調で
- ・ おだやかにはっきりと話す
- ・ 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

運動や趣味を楽しんだり、仲間との付き合いや社会活動で生活にメリハリをつけることで脳の働きが活発になります。また食事にも気を付け、バランスの良い食生活を送りましょう。

◆ 地域包括支援センターにご相談ください

地域包括支援センターでは、認知症についての相談を随時受け付けています。また、3カ月に1回、認知症家族の座談会を開催したり、認知症初期集中支援チーム(初期の段階で医療と介護との連携のもとに認知症の人や家族に対して適切な支援を行うチーム)を設置するなど、認知症高齢者の支援を推進しています。 ○お問い合わせ 地域包括支援センター ☎43-2240

介護保険料は大切な財源です。安心で便利な口座振替を利用して納付期限までにお納めください。

【お問い合わせ】本庁 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116